

スカイクロス

スカイクロスとは

スカイクロスは、1997年に京都で誕生したニュースポーツの名称です。年齢に関係なく、高齢者も児童も障害者も一緒になってプレーできる安全性と、ゲーム感覚のおもしろさが特長です。狭いスペースがあれば校庭や室内などどこでも手軽に楽しめます。

使用する用具



リング（ディスク）・・・布製で直径30センチ、重さわずか50グラム弱のリング状ディスクです。そのうえ弾力性に富んでいるため、人に当たっても怪我をさせる心配が少くないといえます。

コーン（目標ポール）・・・各コースの最後に投げ入れる目標ですが、一般には高さ約30cmの円錐状のものを用品です。なお、これは倒しても自然に起きあがるダルマのような構造に作られています。重さは170グラムと軽量ですが、少々の風で飛ばされることはありません。



リングの投げ方

リングの端をつまんで投げ出す瞬間に、スナップをきかせてリングを回転させながら投げます。真っ直ぐ上手に投げるためには、手を離すときに、リングを地面と水平にすることがコツです。40mくらい飛びます。

ユニークな規則

スカイクロスにはいろいろな遊び方があります。その中でも代表的なものが「ソフトゴルフ競技」及び「おっかけ競技」の2種類です。

ソフトゴルフ競技



通常は10名～14名が1組となり、いくつかのコースを回ってスコアの少なさを競います。各自がスタートラインからリング（ディスク）を目標のコーンに向かって投げ、それぞれリング落下地点まで行って、更に第2投目を投げます。それをくり返しながら最後はリングをコーンに投げ入れて（輪投げ）、そのコースを終えます。

おっかけ競技



2～3名から出来て（最大40名程度）、リングを投げる練習にもなる手軽な競技です。まず誰かが（親を決めておく）好きなところにリングを投げ、それを目標にして他の人（子）はリングを投げながら追いかけます。「子」は3投目までに自分のリングを目標に重ねなければなりません（部分的にでも可）2投目までに重ねたら「子」の勝ち、3投目に重ねると両者引き分け、4投目以上になると「親」の勝ち「子」の負けとします。「親」が投げるのは1度だけです。子は必ず3回投げなければなりません。

* 資料提供「日本スカイクロス協会」TEL06-6971-9190